

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
一般教養B		映像クリエイション学科／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	13回	1単位	必須	鯖田, 杉岡, 北野
授 業 の 概 要				
経済・政治・流通の仕組み説明 業界特有のマナー、ルールを説明				
授業終了時の到達目標				
おもに各業界内でのルール、マナーを知り、社会人にふさわしい行動や考え方をすることができる				
教員の略歴				
映像・演劇・イベント業界でそれぞれ社会人経験を積む				
回	テ ー マ	内 容		
1	時事問題	最新の話題となった事柄		
2	会社の種類	株式会社 有限会社 合資会社の違いと特徴		
3	社会人の経済学	日経平均／ダウ平均 円安の仕組み マネーリテラシー		
4	言葉使い	クレーム対応／慶事の際の会話 ビジネス時の言葉		
5	ポリティカル・コレクトネス	コンプライアンスを踏まえてポリコレについて考える		
6	聴き方・話し方トレーニング	傾聴と説明		
7	ロジカルシンキング	MECE		
8	ロジカルシンキング	仮説思考		
9	ロジカルシンキング	ゼロベース思考		
10	ロジカルシンキング	ピラミッドストラクチャー		
11	プレゼンテーション	自己主張、状況説明、プレゼンテーションの諸注意		
12	プレゼンテーション実習	実際にプレゼンテーションを経験		
13	まとめ			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
特になし		出席率 授業態度 課題・レポート	20.0% 20.0% 60.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
就職指導II		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	40回	3単位	必須	鯖田, 杉岡, 北野
授 業 の 概 要				
就職活動に合わせた指導と講義により「専門知識を身に付けた社会人」を育成する				
授業終了時の到達目標				
言葉づかい、一般常識、時事問題など、就職に必要な知識と行動を身につけ、実際の面接などで活用できる				
教員の略歴				
自身の就職経験、採用者としての経験、そして就職指導者としての経験を併せ持つ				
回	テ ー マ	内 容		
1～3	グループ面接	グループ面接の概要・注意点と、模擬グループ面接		
4～6	エントリーシート文章	個々のアピールポイントと長所短所の整理		
7～9	グループディスカッション	模擬グループディスカッション		
10～12	個別指導	学生個人個人の就活スケジュールに合わせた就職指導		
13～15	個別指導	学生個人個人の就活スケジュールに合わせた就職指導		
16～18	個別指導	学生個人個人の就活スケジュールに合わせた就職指導		
19～21	個別指導	学生個人個人の就活スケジュールに合わせた就職指導		
22～24	個別指導	学生個人個人の就活スケジュールに合わせた就職指導		
25～27	個別指導	学生個人個人の就活スケジュールに合わせた就職指導		
28～30	個別指導	学生個人個人の就活スケジュールに合わせた就職指導		
31～33	個別指導	学生個人個人の就活スケジュールに合わせた就職指導		
34～36	個別指導	学生個人個人の就活スケジュールに合わせた就職指導		
37～39	個別指導	学生個人個人の就活スケジュールに合わせた就職指導		
40	個別指導	学生個人個人の就活スケジュールに合わせた就職指導		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
特になし		出席率 授業態度 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
シナリオIII		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	39回	3単位	必須	虎本, 鯖田, 杉岡
授 業 の 概 要				
クラスメイトの書くストーリーを読みあい、互いにアドバイスをすることで一般評価を予測する				
授業終了時の到達目標				
卒業制作で利用できる映画および演劇シナリオを書くことができる				
教員の略歴				実務経験 有
関西の劇団で脚本演出を担当 自劇団のみならず、ラジオドラマやミュージカル、映像作品のシナリオも手掛ける。				
回	テ ー マ	内 容		
1～3	観客の感情操作	ストーリー構成のポイントを解説		
4～6	名作に見るシナリオ	既存の作品のシナリオから解説		
7～9	卒業制作のテーマ決定	提出されているプロットや作品への要望から卒作のテーマを決める		
10～12	卒業制作シナリオ作成 1	卒業制作のハコ書き作成		
13～15	卒業制作シナリオ作成 2	ハコ書きをもとにシナリオを書く		
16～18	卒業制作シナリオ作成 3	アドバイス／手直し		
19～21	卒業制作シナリオ作成 4	アドバイス／手直し		
22～24	卒業制作シナリオ作成 5	アドバイス／手直し		
25～27	卒業制作シナリオ作成 6	シナリオ完成		
28～30	卒業制作シナリオ作成 7	演劇及び撮影用台本への変換作業		
31～33	卒業制作シナリオ作成 8	演劇及び撮影用台本への変換作業		
34～36	卒業制作シナリオ作成 9	演劇及び撮影用台本への変換作業		
37～39	まとめ	総評		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント配布		出席率 授業態度 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
イベント企画II		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	4単位	必須	杉岡, 鯖田, 北野
授 業 の 概 要				
商業イベントの仕組みと流れを理解し、イベントの企画からその実行までに必要な知識、トラブルパターンの対処方法を学ぶ。1年間かけて卒業作品校外展を企画、実施する				
授業終了時の到達目標				
1年生の学年末課題発表会で得た経験を基に、卒業作品展を企画、運営を行うことができる				
教員の略歴				実務経験 有
舞台監督、舞台美術、劇団プロデューサー。 関西を中心に演劇の舞台監督と舞台美術として活躍する。 関西の劇団の代表及びプロデューサーとして劇団を運営。 定期的に公演を行う。				
回	テ ー マ	内 容		
1～4	卒業作品展の概要	卒業作品展の概要の説明		
5～8	卒業作品展運営計画 1	企画書・予算書・スケジュールの立案		
9～12	卒業作品展運営計画 2	企画書・予算書・スケジュールの立案		
13～16	卒業作品展運営計画 3	企画書・予算書・スケジュールの立案		
17～20	卒業作品展運営計画 4	企画書・予算書・スケジュールの完成		
21～24	卒業作品展に向けての運営 1	各セクションの作業進行状態確認及び作業		
25～28	卒業作品展に向けての運営 1	各セクションの作業進行状態確認及び作業		
29～32	卒業作品展に向けての運営 2	各セクションの作業進行状態確認及び作業／広報開始		
33～36	卒業作品展に向けての運営 3	各セクションの作業進行状態確認及び作業		
37～40	卒業作品展に向けての運営 4	各セクションの作業進行状態確認及び作業／本番会場運営の確認		
41～44	卒業作品展に向けての運営 5	各セクションの作業進行状態確認及び作業／本番会場運営最終確認		
45～48	卒業作品展に向けての運営 6	卒業作品展の実施		
49～52	まとめ	成果報告書作成／精算		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント配布		出席率 授業態度 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
検定試験対策		映像クリエイション学科／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	27回	2単位	必須	鯖田, 杉岡
授 業 の 概 要				
映像：映像音響処理技術士資格認定試験過去問題集 舞台：過去5年間の試験問題を分析。独自の試験対策問題で予備試験をする。				
授業終了時の到達目標				
映像：日本ポストプロダクション協会『映像音響処理技術士資格認定試験』合格率90%以上 舞台：技能検定協会「舞台機構調整 音響機構調整作業」合格率90%以上				
教員の略歴				実務経験 有
映画館で上映する映画や、CMやテレビ番組、MVなど多岐にわたる映像を編集・制作。 日本アカデミー賞協会、日本映画・テレビ編集協会の正会員であり、Blackmagicdesign社によるハリウッド映画業界標準の編集ソフト『DaVinci Resolve』の認定トレーナー				
回	テ ー マ	内 容		
1～3	技術基礎問題対策/技術基礎問題対策	過去問題集／独自の対策問題にそって		
4～6	技術基礎問題対策/技術基礎問題対策	過去問題集／独自の対策問題にそって		
7～9	映像基礎問題対策/技術基礎問題対策	過去問題集／独自の対策問題にそって		
10～12	映像基礎問題対策/実技練習	過去問題集／独自の対策問題にそって		
13～15	音響基礎問題対策/実技練習	過去問題集／独自の対策問題にそって		
16～18	音響基礎問題対策/実技練習	過去問題集／独自の対策問題にそって		
19～21	マルチメディア・コンピュータ基礎問題対策/実技練習	過去問題集／独自の対策問題にそって		
22～24	マルチメディア・コンピュータ基礎問題対策/模擬試験	過去問題集／独自の対策試験		
25～27	著作権基礎問題対策/模擬試験	過去問題集／独自の対策試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
映像：映像音響処理技術士資格認定試験過去問題集 舞台：特になし		出席率 授業態度 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
3DCG		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	3単位	必須	鯖田 明
授 業 の 概 要				
MAYAを使った3DCG作成。 これまでの2DCGを3DCGに活用し、複合的な作品づくりを実習する。				
授業終了時の到達目標				
3DCGアニメーションを合成した高度な映像作成ができる				
教員の略歴				実務経験 有
映画・テレビ番組・CMなど数多くの作品でCGを作成・合成をしてきた				
回	テ ー マ	内 容		
1～4	MAYA操作法	1年次のおさらいとMASH		
5～8	MAYA操作法	MASH		
9～12	MAYA操作法	ncloth		
13～16	MAYA操作法	スカイドーム		
17～20	MAYA操作法	FX／レンダリング		
21～24	実習課題	ストーリー構成		
25～28	実習課題	オブジェクト作成		
29～32	実習課題	オブジェクト作成		
33～36	実習課題	アニメーション		
37～40	実習課題	アニメーション		
41～44	実習課題	ライティング、カメラ		
45～48	実習課題	レンダリング		
49～52	発表	上映会／講評		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
特になし		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 20.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
映像概論III		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	26回	2単位	選択	鯖田 明
授 業 の 概 要				
映像を総合的に分析し、視聴者に与える影響を考える				
授業終了時の到達目標				
観客心理を把握し、目的に応じ演出理論を考えることができる				
教員の略歴				実務経験 有
映画館で上映する映画や、CMやテレビ番組、MVなど多岐にわたる映像を編集・制作。 日本アカデミー賞協会、日本映画・テレビ編集協会の正会員であり、Blackmagicdesign社によるハリウッド映画業界標準の編集ソフト『DaVinci Resolve』の認定トレーナー				
回	テ ー マ	内 容		
1～2	映画分析	アクション映画の「迫力」		
3～4	映画分析	コメディ映画の「落差」		
5～6	映画分析	ホラー映画の「間」		
7～8	ドラマ分析	ストーリー展開と情報量		
9～10	課題実習	台本制作		
11～12	課題実習	台本制作		
13～14	課題実習	カット割り		
15～16	課題実習	カット割り		
17～18	課題実習	撮影		
19～20	課題実習	撮影		
21～22	課題実習	編集		
23～24	課題実習	編集		
25～26	課題実習	仕上げ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
映像制作ハンドブック 新版		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 20.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
編集III		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	3単位	選択	鯖田 明
授 業 の 概 要				
2年間習い続けたこと全てを活かして、高度な映像表現を習得する。				
授業終了時の到達目標				
視聴者心理を把握し、必要に応じた間や構成、流れが組める。 バレ消しや3D合成等、高度な編集・映像品質管理をすることができる。				
教員の略歴				実務経験 有
映画館で上映する映画や、CMやテレビ番組、MVなど多岐にわたる映像を編集・制作。 日本アカデミー賞協会、日本映画・テレビ編集協会の正会員であり、Blackmagicdesign社によるハリウッド映画業界標準の編集ソフト『DaVinci Resolve』の認定トレーナー				
	テ ー マ	内 容		
1～4	DaVinci resolve操作法	colorを使った合成		
5～8	DaVinci resolve操作法	Fusionを使った合成		
9～12	DaVinci resolve操作法	カラーグレーディング		
13～16	DaVinci resolve操作法	パーティクル生成		
17～20	DaVinci resolve操作法	合成実習		
21～24	DaVinci resolve操作法	合成実習		
25～28	機材実習	映画制作の編集		
29～32	機材実習	映画制作の編集		
33～36	機材実習	映画制作の編集		
37～40	機材実習	映画制作の合成		
41～44	機材実習	映画制作の合成		
45～48	機材実習	映画制作のカラーグレーディング		
49～52	機材実習	映画制作のカラーグレーディング		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
配布プリント		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 20.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
撮影III		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	3単位	選択	下村, 鯖田, 北野
授 業 の 概 要				
URSA mini pro 12Kをメインとしたシネマカメラの説明 カット割り・画コンテの作成				
授業終了時の到達目標				
カメラの電子回路／特性を理解する。観客心理を把握したカメラ操作をすることができる。				
教員の略歴				実務経験 有
映像カメラマン。テレビ番組やCMなどの撮影会社勤務を経て、フリーの映像カメラマンに。特に雪山での撮影を得意とする。またカメラだけでなく、有名ミュージシャンのコンサート音響をこなすなど、幅広い活躍を展開する				
回	テ ー マ	内 容		
1～4	信号	1年次の復習と映像信号を学ぶ		
5～8	ミュージックビデオ撮影法	MVの撮影プラン		
9～12	ミュージックビデオ撮影法	MVで活用できる撮影法を学ぶ1		
13～16	ミュージックビデオ撮影法	MVで活用できる撮影法を学ぶ2		
17～20	放送用カメラの取扱い	放送用カメラの取扱い方法を学ぶ		
21～24	機材の準備・点検	撮影に向かう前に必要な機材チェックと点検方法を学ぶ		
25～28	機材の準備・点検	撮影に向かう前に必要な機材チェックと点検方法を学ぶ		
29～32	課題撮影	ロケハンと撮影プラン		
33～36	課題撮影	VEの役割と作業内容、映像保守に関して学ぶ		
37～40	課題撮影	撮影 1		
41～44	課題撮影	撮影 2		
45～48	課題撮影	撮影 3		
49～52	課題撮影	撮影 4		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
配布プリント 映像制作ハンドブック 新版		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 20.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
録音実技III		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	3単位	選択	杉山, 鯖田, 北野
授 業 の 概 要				
ミキサー／ブームの使い方 音の習性を知り、集音に役立てる				
授業終了時の到達目標				
録音技術の習得。ミキサーの特性を知り、録音対象に応じて高度な録音プランが出来る。 素材音響収録をはじめ、観客心理に沿った音響作成が出来る				
教員の略歴				実務経験 有
サウンドクリエイター。映画のフィールドレコーディングをはじめ、音響スタジオでのコンテンツ作成、各地のテレビ局での音効と、映像音響に関わる様々な経験を持つ				
回	テ ー マ	内 容		
1～4	1年次のおさらい	音の特性、收音技法の種類とプラン		
5～8	收音実習	擬音作成		
9～12	收音実習	リーレコ／フォリー実習		
13～16	收音実習	マイクの特性をいかした集音		
17～20	課題作品	音声プラン		
21～24	課題作品	音響プラン		
25～28	課題作品	音響プラン		
29～32	課題作品	集音		
33～36	課題作品	集音		
37～40	課題作品	整音		
41～44	課題作品	整音		
45～48	課題作品	音響効果		
49～52	最後に	仕上げ／総評		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率	20.0%	
		授業態度	20.0%	
		課題・レポート	30.0%	
		実習・実技評価	30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
MA講座III		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	40回	2単位	選択	杉山, 鯖田, 北野
授 業 の 概 要				
アフレコ、音声処理に関する知識の習得、編集系授業とのリンク。 MAルームでの、Protoolsによる微調整や音声効果の実習				
授業終了時の到達目標				
MAを中心に、録音・整音・ミキシングを行うことができる				
教員の略歴				実務経験 有
サウンドクリエイター。映画のフィールドレコーディングをはじめ、音響スタジオでのコンテンツ作成、各地のテレビ局での音効と、映像音響に関わる様々な経験を持つ				
回	テ ー マ	内 容		
1～3	MAルーム操作法	音響卓の把握		
4～6	作業実習	タイミング・音声心理の把握		
7～9	作業実習	フィールドレコーディング・スタジオレコーディング		
10～12	作業実習	Protoolsを使った整音実習		
13～15	作業実習	Protoolsを使った整音実習		
16～18	卒業作品チェック	サウンドプラン		
19～21	卒業作品チェック	SE／MAプラン		
22～24	卒業作品チェック	SE／ME作成		
25～27	卒業作品チェック	整音とタイミング		
28～30	卒業作品チェック	整音とタイミング		
31～33	卒業作品チェック	MIX		
34～36	卒業作品チェック	MIX		
37～40	卒業作品チェック	仕上げ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
参考書：映像制作ハンドブック 新版		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 20.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
映像照明III		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	3単位	選択	河村, 鯖田, 北野
授 業 の 概 要				
照明機材の扱い方 照明による演出法 実作業での指導				
授業終了時の到達目標				
照明の画像に及ぼす影響を把握し、HMIやレフ板、各種照明フィルターを使って照明による質感・季節感・時間・心理描写等の表現をすることができる				
教員の略歴				実務経験 有
照明技師。映画・ドラマ・CMなど数多くの照明に携わる。 経験と緻密な研究による照明理論を基に行う授業に定評がある				
回	テ ー マ	内 容		
1～4	照明の役割	照明の画像に及ぼす影響		
5～8	スタジオワーク	照明機材の取り扱い		
9～12	実技実習	フィルターの活用法・ミレッドシフト値算出法		
13～16	オープンロケの照明法	レフ板・HMIの活用		
17～20	課題作品撮影実習	企画・前準備		
21～24	課題作品撮影実習	撮影		
25～28	課題作品	照明プラン		
29～32	課題作品	照明プラン		
33～36	課題作品	撮影時の照明		
37～40	課題作品	撮影時の照明		
41～44	課題作品	カラーグレーディングと照明		
45～48	課題作品	色調補正		
49～52	課題作品	仕上げ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
配布プリント		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 20.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
映画プロデュース論II		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	40回	2単位	選択	川上, 鯖田, 北野
授 業 の 概 要				
映画の企画立案から上映まで、プロデューサーの役割等を講義。 近年のデジタルシネマの動向やシネコンの配給・上映方法も含めて、今後の映画界の行方を推測する シネコンでのデジタルシネマ上映を卒業制作にて実施				
授業終了時の到達目標				
映画監督としてのフィルム作成・各種許可の取り方を身につけ、映画及び映画祭のプロデュース、イベントの企画立案・宣伝をすることができる。				
教員の略歴				実務経験 有
映画監督。有名映画会社で勤務ののち独立。映像制作会社を立ち上げる。自身の作品の監督のみならず、日米合作映画のラインプロデューサーをはじめ、さまざまな映画を制作。また作品作りにとどまらず、数多くの映画祭も企画・運営。				
回	テ ー マ	内 容		
1～3	オーディション準備	オーディション開催要綱／チェックポイント		
4～6	オーディション	オーディションの流れと確認事項		
7～9	課題制作	企画、各種申請方法		
10～12	課題制作	企画書／許可証／撮影協力書作成		
13～15	課題制作	顔合わせ・読み合わせ開催		
16～18	課題制作	演出の手法とテクニック		
19～21	課題制作	立ち稽古		
22～24	課題制作	ロケハン		
25～27	課題制作	コンテとカット割り		
28～30	課題制作	撮影		
31～33	課題制作	編集		
34～36	課題制作	MA		
37～40	課題制作	仕上げ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
特になし		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 20.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ドラマ撮影		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	3単位	選択	下村, 鯖田, 北野
授 業 の 概 要				
映画撮影機材の扱い方 画面による演出法 実作業での指導				
授業終了時の到達目標				
映画撮影機材の操作法習得。視聴者心理を把握したカット割り・カメラアングル・カメラワーク等ができる				
教員の略歴				実務経験 有
放送局及びその他の映像コンテンツ制作における技術職で活動。 ENG、マルチ中継・収録、VP、ドラマ、映画などの現場でカメラ・VE・音声を担当。				
回	テ ー マ	内 容		
1～4	はじめに	映画撮影の注意点／DITとデジタル工程について学ぶ		
5～8	シネマカメラ操作法	メニュー項目・操作方法を学ぶ		
9～12	シネマカメラ操作法	レンズ・フィルターの活用法を学ぶ		
13～16	実技テスト	シネマカメラの実技テストをおこなう		
17～20	課題作品撮影実習	企画・前準備		
21～24	課題作品撮影実習	ロケハン		
25～28	課題作品撮影実習	撮影プラン		
29～32	課題作品撮影実習	機材テスト・機材選定		
33～36	課題作品撮影実習	カット割・照明部との画作り調整		
37～40	課題作品撮影実習	カット割・照明部との画作り調整		
41～44	課題作品撮影実習	撮影		
45～48	課題作品撮影実習	撮影		
49～52	課題作品撮影実習	撮影		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
参考書：映像制作ハンドブック 新版		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 20.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ドラマ演出論		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	40回	2単位	選択	鯖田, 北野
授 業 の 概 要				
映画制作を通じてストーリー演出を実践				
授業終了時の到達目標				
スタッフや演者の軸となり、映画作品の監督として短編映画を仕上げるができる				
教員の略歴				実務経験 有
映画館で上映する映画や、CMやテレビ番組、MVなど多岐にわたる映像を編集・制作。 日本アカデミー賞協会、日本映画・テレビ編集協会の正会員であり、Blackmagicdesign社によるハリウッド映画業界標準の編集ソフト『DaVinci Resolve』の認定トレーナー				
回	テ ー マ	内 容		
1～3	映画制作	企画		
4～6	映画制作	企画		
7～9	映画制作	台本		
10～12	映画制作	台本		
13～15	映画制作	カット割り		
16～18	映画制作	カット割り		
19～21	映画制作	読み合わせ		
22～24	映画制作	演技指導		
25～27	映画制作	撮影		
28～30	映画制作	撮影		
31～33	映画制作	編集／合成		
34～36	映画制作	編集／合成		
37～40	映画制作	MA／SE		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
映像制作ハンドブック 新版		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 20.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ステージ音響III		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	3単位	選択	横田, 大谷, 杉岡
授 業 の 概 要				
機材についてをメインに構成。 目標としては、デジタルPA設営、マイクのアペレートが出来るまでを目標。 後期はアペレートに対して慣れさせることを目的としています。				
授業終了時の到達目標				
PA機材な扱い方から、それらを使っのプランニング、録音素材の適切な扱い方等を習得し、デジタルPA設営、安定したマイクのアペレートが出来る				
教員の略歴				実務経験 有
音響プランナー。芸術劇場での音響チーフなども務める。 大ホールでのプランも多くこなす。SRの構築に定評がある。				
回	テ ー マ	内 容		
1～4	機材のメンテナンス	ケーブル作成 / トラブルについて		
5～8	音響現場の実際	PA設営のノウハウ チューニングについて／ハウリング対策		
9～12	音響プランニング	高度な資料作成 Qシート / 実際の資料を例に作成 / DAWソフト Live の扱い		
13～16	PA設営、オペレーションー1	簡単なPAをプランニングから構成させる、基礎		
17～20	PA設営、オペレーションー2	簡単なPAをプランニングから構成させる、ex芝居		
21～24	PA設営、オペレーションー3	進行状況により判断 録音素材を使っのMixing実習		
25～28	卒業作品課題作品音響1	劇場資料確認及びプランスケジュールの設定		
29～32	卒業作品課題作品音響2	選曲、演出との打ち合わせ		
33～36	卒業作品課題作品音響3	図面作成、曲の編集		
37～40	卒業作品課題作品音響4	劇場提出用資料作成		
41～44	卒業作品課題作品音響5	劇場での仕込み（サウンドチェック、ばあたり、ゲネプロ）		
45～48	卒業作品課題作品音響6	劇場でのオペレーション		
49～52	まとめ	総評		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
配付プリント 教科書：The Theatrical Sound Engineer's Bible 兼六館出版		出席率 授業態度 実習・実技評価	40.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
舞台美術製作		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	3単位	選択	杉岡 亮介
授 業 の 概 要				
課題作品の美術制作を中心に、いかに見せるのか、観客はどう感じるのかというテクニックを学びます				
授業終了時の到達目標				
舞台表現のテクニックとしての舞台美術プランと制作ができる				
教員の略歴				実務経験 有
舞台監督、舞台美術、劇団プロデューサー。 関西を中心に演劇の舞台監督と舞台美術として活躍する。 関西の劇団の代表及びプロデューサーとして劇団を運営。 定期的に公演を行う。				
回	テ ー マ	内 容		
1～4	舞台美術の基本 1	1年生の復習及び不安機材の練習		
5～8	舞台美術の基本 2	1年生の復習及び不安機材の練習		
9～12	合同演劇課題美術、計画	各図面作成		
13～16	合同演劇課題美術、制作 1	美術製作（図面完成から木工作業、塗装）		
17～20	合同演劇課題美術、制作 2	美術製作（図面完成から木工作業、塗装）		
21～24	合同演劇課題美術、制作 3	美術製作（図面完成から木工作業、塗装）		
25～28	合同演劇課題美術、制作 4	美術製作（図面完成から木工作業、塗装）完成		
29～32	舞台模型	模型の作り方		
33～36	卒業作品展、美術計画 1	美術プラン考察、エレベーション、平面図、設計作成		
37～40	卒業作品展、美術計画 2	美術プラン考察、エレベーション、平面図、設計作成		
41～44	卒業作品展、美術製作 1	美術作成 アドバイス		
45～48	卒業作品展、美術製作 2	美術作成 アドバイス		
49～52	卒業作品展、美術製作 3	美術作成 アドバイス		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教科書・図解舞台美術の基礎知識（舞台技術入門新シリーズ（4）） プリント配布		出席率 授業態度 実習・実技評価	40.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
舞台照明III		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	3単位	選択	溝渕, 杉岡
授 業 の 概 要				
照明器具の特性・使用方法／光の特性 調光システムの基礎知識／照明プランニング・オペレートの基礎 ムービングライトの基礎知識				
授業終了時の到達目標				
舞台照明Ⅰ・Ⅱにて習得した知識・技術をさらに深め、実際の現場に即した形での実用的な技術・理論を習得し、MA2を使ったムービングライトの設計と操作ができる				
教員の略歴				実務経験 有
照明プランナー。数多くの公演にかかわる。 特にムービング機材のプランやオペレーションに定評がある。 劇場管理等もおこなう				
回	テ ー マ	内 容		
1～4	復習	舞台照明の基礎知識		
5～8	復習	舞台照明の基礎知識		
9～12	器具の特性と使用方法	用途 1		
13～16	器具の特性と使用方法	用途 2		
17～20	課題作品チェック	照明プラン 1		
21～24	課題作品チェック	照明プラン 2		
25～28	ムービング プランニング実習 1	ムービングプラン		
29～32	ムービング プランニング実習 2	ムービングオペレート		
33～36	卒業作品照明	照明プラン 1		
37～40	卒業作品照明	照明プラン 2		
41～44	卒業作品照明	照明プラン 3		
45～48	卒業作品照明	照明プラン 4		
49～52	卒業作品展	劇場仕込み～操作		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
コンサートライティング入門 著加藤憲治 プリントを配布 ※作業を行うこともあるので、必ず動きやすい服装で、また、危険防止のため革手袋お上		出席率 授業態度 実習・実技評価	40.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
舞台演出論III		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	3単位	選択	虎本, 杉岡
授 業 の 概 要				
演劇の演出を中心として、1つの舞台芸術が完成していくまでの役割、方法を講義する。 実際に役割分担をして演劇のスタッフワークを学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
舞台における専門的な知識、用語を理解し、実際の現場で活用することができる				
教員の略歴				実務経験 有
関西の劇団で脚本演出を担当 自劇団のみならず、ラジオドラマやミュージカル、映像作品のシナリオも手掛ける。				
回	テ ー マ	内 容		
1～4	はじめに	年間課題の確認 及び スケジュール考察		
5～8	音楽ライブ課題と卒業制作の演出	小コンサートの計画 / 卒業作品展のテーマ		
9～12	音楽ライブ課題	テーマ、ライブ構成、舞台デザイン考察		
13～16	短編演劇計画 1	テーマから台本選出、キャスティング及び作品の演出を考察		
17～20	短編演劇計画 2	稽古プラン、各スタッフとの調整		
21～24	短編演劇計画 3	稽古中の作品へのアドバイス		
25～28	短編演劇計画 3	劇場でのリハーサル進行考察		
29～32	卒業公演作品計画 1	テーマから台本選出、キャスティング及び作品の演出を考察		
33～36	卒業公演作品計画 2	稽古プラン、各スタッフとの調整		
37～40	卒業公演作品計画 3	稽古中の作品へのアドバイス		
41～44	卒業公演作品計画 4	稽古中の作品へのアドバイス		
45～48	卒業公演作品計画 5	劇場でのリハーサル進行考察		
49～52	まとめ	卒業公演についての総評		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
筆記試験と出席点を総合として評価する		出席率 授業態度 実習・実技評価	40.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
舞台プロデュース論		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	3単位	選択	杉岡 亮介
授 業 の 概 要				
舞台といってもいろいろな作品がある。 各ジャンルによって、どのような演出、プロデュースをすればよいかを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
舞台イベントについての演出方法を理解し、演劇公演をプロデュースすることができる				
教員の略歴				実務経験 有
舞台監督、舞台美術、劇団プロデューサー。 関西を中心に演劇の舞台監督と舞台美術として活躍する。 関西の劇団の代表及びプロデューサーとして劇団を運営。 定期的に公演を行う。				
回	テ ー マ	内 容		
1～4	プロデューサーの仕事	イベントのプロデューサーの仕事内容解説		
5～8	プロデュースの基礎	リサーチ方法、収支の考え方、公演計画		
9～12	資金と宣伝	協賛金・助成金の概念 広告とメディアの考え方		
13～16	イベント会場選定方法	席単価、立地、イベント会場の利用等の解説		
17～20	合同演劇課題プロデュース1	公演を計画、集客するために宣伝や当日運営を考える		
21～24	合同演劇課題プロデュース2	公演を計画、集客するために宣伝や当日運営を考える		
25～28	合同演劇課題プロデュース3	公演終了後、結果から今回の成果についてまとめる		
29～32	卒業作品演劇公演プロデュース1	宣伝計画、予算計画、実施計画をまとめ		
33～36	卒業作品演劇公演プロデュース2	宣伝、当日企画、票券など公演に必要な制作業務の企画と実行		
37～40	卒業作品演劇公演プロデュース3	宣伝、当日企画、票券など公演に必要な制作業務の企画と実行		
41～44	卒業作品演劇公演プロデュース4	宣伝、当日企画、票券など公演に必要な制作業務の企画と実行		
45～48	卒業作品演劇公演プロデュース5	劇場での運営		
49～52	まとめ	総評		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント配布		出席率 授業態度 実習・実技評価	40.0% 30.0% 30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
舞台監督論		映像クリエイション学科／2年	2025／通年	講義／実習
授業時間	回数	単位数	必須・選択	担当教員
70分	52回	3単位	選択	杉岡 亮介
授 業 の 概 要				
舞台監督の役割について学ぶ。 舞台スタッフの動きを考えながら舞台進行をスムーズに行えるようになる。 トラブルに対する機転を身につける 劇場にいて本番を体験する。				
授業終了時の到達目標				
舞台の進行における知識をもとに、演劇公演をスムーズに進行できる				
教員の略歴				実務経験 有
舞台監督、舞台美術、劇団プロデューサー。 関西を中心に演劇の舞台監督と舞台美術として活躍する。 関西の劇団の代表及びプロデューサーとして劇団を運営。 定期的に公演を行う。				
回	テ ー マ	内 容		
1～4	舞台監督の役割	イベントにおける舞台監督の役割を知る		
5～8	舞台監督の仕事	具体的に舞台監督が行う仕事を知る		
9～12	舞台進行とは	演劇・イベントなどの「進行」を進行台本やタイムテーブルをもとに学ぶ		
13～16	本番までの準備方法	公演立ち上げから劇場入りするまでの舞台監督の仕事を知る		
17～20	合同課題にむけての計画	課題公演の舞台監督としての計画を立てる		
21～24	劇場入りしてからの役回り	劇場入りしてから劇場から出るまでの舞台監督の仕事を知る		
25～28	合同課題にむけての準備 1	課題公演に向けての舞台監督業務のアドバイス		
29～32	合同課題にむけての準備 2	課題公演に向けての舞台監督業務のアドバイス		
33～36	劇場打ち合わせ実習	外部ホールで行う劇場打ち合わせの模擬体験をする		
37～40	卒業作品に向けての舞台監督の仕事 1	卒業公演に向けての舞台監督業務のアドバイス		
41～44	卒業作品に向けての舞台監督の仕事 2	卒業公演に向けての舞台監督業務のアドバイス		
45～48	卒業作品に向けての舞台監督の仕事 3	卒業公演に向けての舞台監督業務のアドバイス		
49～52	まとめ	総評		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教科書・図解舞台美術の基礎知識（舞台技術入門新シリーズ（4）） プリント配布		出席率 授業態度 実習・実技評価	40.0% 30.0% 30.0%	